(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3817746号
(P3817746)
(45)発行日　平成18年9月6日(2006.9.6)　(24)登録日　平成18年6月23日(2006.6.23)

(51)Int.Cl.　F I
A63F 7/02 (2006.01)　A63F 7/02 349Z

請求項の数 3　(全 17 頁)

(21)出願番号　特願平6-137231
(22)出願日　平成6年6月20日(1994.6.20)
(65)公開番号　特開平8-814
(43)公開日　平成8年1月9日(1996.1.9)
審査請求日　平成13年4月27日(2001.4.27)

(73)特許権者　000150051
株式会社竹屋
愛知県春日井市美濃町二丁目９８番地
(74)代理人　100084227
弁理士　今崎　一司
(72)発明者　竹　内　　正　博
愛知県春日井市如意申町３丁目２番地の３
(72)発明者　若　菜　　芳　生
愛知県春日井市稲口町３丁目１７番地の４
(72)発明者　田　結　　誠
東京都中野区新井４丁目４番３号
(72)発明者　竹　内　　英　勝
愛知県春日井市東野町西二丁目１４番地の１５

最終頁に続く

(54)【発明の名称】パチンコ島台

(57)【特許請求の範囲】

【請求項１】

複数のパチンコ機を列設し、且つパチンコ機から排出された使用済玉を回収する回収樋と、該回収樋で回収した使用済玉を研磨揚送する玉磨き揚送装置と、該玉磨き揚送装置によって揚送された玉を受け入れる補給タンクと、該補給タンクが受け入れた玉を再度各パチンコ機に補給する補給樋と、を備えたパチンコ島台において、

前記パチンコ島台は、前記パチンコ機を装着可能に構成された島台ユニットと、前記玉磨き揚送装置を設置するボックス型ユニットと、を連結することで構成され、

前記ボックス型ユニットは、前記玉磨き揚送装置の上部が挿入され且つ前記補給タンクが備えられた上段ユニットと、前記玉磨き揚送装置の胴体部が挿入される縦長の中段ユニットと、前記玉磨き揚送装置の下部が挿入される下段ユニットによって構成されると共に、前記下段ユニットが前記中段ユニットに対してパチンコ島台長手方向に突出するように略Ｌ字状に形成され、

前記中段ユニットは、該中段ユニットの上面部に水平方向に突出する上連結鍔と、該中段ユニットの下面部に水平方向に突出する下連結鍔と、を有し、

前記上段ユニットの下面部と前記中段ユニットの上連結鍔とが水平方向に当接するように連結され、且つ前記下段ユニットの上面部と前記中段ユニットの下連結鍔とが水平方向に当接するように連結されることで前記ボックス型ユニットが枠組み形成され、

前記島台ユニットは、前記ボックス型ユニットと連結される側が、その下部が前記下段ユニットの突出部が挿入されるように凹状に形成され、

前記島台ユニットと前記ボックス型ユニットとを連結する際に、前記ボックス型ユニットの下段ユニットの突出部が前記島台ユニットの凹状部に重合し且つ前記ボックス型ユニットの中段ユニットと前記島台ユニットの端面が当接するように連結されることを特徴とするパチンコ島台。

【請求項２】

前記ボックス型ユニットの上段ユニットは、前記島台ユニットの上端部と当接するように前記下段ユニットと同一方向に突出するように形成され、

前記島台ユニットと前記ボックス型ユニットとを連結する際に、前記上段ユニットと前記下段ユニットとで前記島台ユニットを挟み込むようにして連結したことを特徴とする請求項１記載のパチンコ島台。

【請求項３】

前記ボックス型ユニットの上段ユニットは、前記補給タンクと前記島台ユニットに設けられる前記補給樋とを連結するための挿入樋が当該上段ユニットの側面から外部に突出するように設けられたことを特徴とする請求項１又は請求項２記載のパチンコ島台。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【産業上の利用分野】

本発明は、複数のパチンコ機を列設し、且つ各パチンコ機から排出された使用済玉を回収する回収樋と、該回収樋で回収した使用済玉を研磨揚送する玉磨き揚送装置と、該玉磨き揚送装置によって揚送された玉を再度各パチンコ機に補給する補給樋と、を備えたパチンコホールにおける島台において、上記玉磨き揚送装置を設置する島台骨組箇所を独立ユニット化したパチンコ島台に関するものである。

【０００２】

【従来の技術】

従来より、パチンコ島台の内部には、玉自動循環機能として搬送ベルトを有する玉磨き揚送装置が立設して装備されていた。これにより、パチンコ島台に設置された複数のパチンコ機から排出される使用済玉は、回収樋で回収された後、玉磨き揚送装置の搬送ベルトによって研磨されながら上方に揚送され、補給樋を介して再度各パチンコ機に供給される。即ち、パチンコ島台内の遊技玉は、玉磨き揚送装置の駆動によって循環使用されていた。

【０００３】

ところで、上記従来のような玉磨き揚送装置を立設装備したパチンコ島台は、玉磨き揚送装置が収納される場所が、玉磨き揚送装置の設置作業や保守点検する際、玉磨き揚送装置が出し入れできるよう、パチンコ島台を構成する骨組の木柱を一部削除してボックス状の空間部が形成され、該空間部の外側に玉磨き揚送装置用の専用扉を設けて特別に形成されていた。

【０００４】

図９及び図１０で示すように、複数個のパチンコ機Ｈ２を列設してなるパチンコ島台Ｈ１は、その内部に玉磨き揚送装置Ｈ２０を収納する空間部Ｈ１６を形成するため、パチンコ島台Ｈ１を構成する略直方体状に枠組みされた縦柱Ｈ１７と横柱Ｈ１８の一部が欠切されている。即ち、パチンコ島台Ｈ１は、空間部Ｈ１６の右側（図９において）を形成している縦柱Ｈ１７の下部と、島台前面側に設けられる４本の横柱１８のうち空間部Ｈ１６を横断する区間とが削除されて形成されていた。

【０００５】

また、上記玉磨き揚送装置Ｈ２０を収納するパチンコ島台Ｈ１の空間部Ｈ１６には、パチンコ島台Ｈ１上部に形成され、パチンコ機Ｈ２に補給樋Ｈ１０を介して補給するためのパチンコ玉をプールしておく補給タンクＨ７０や、該補給タンクＨ７０からの余剰玉をパチンコ島台Ｈ１下部に設けられた貯留タンクＨ１４に還元させるオーバーフローホースＨ４５及びパチンコ機Ｈ２からの排出玉や景品玉返却装置（図示省略）からの返却玉を回収する回収樋Ｈ１３、その他、玉磨き揚送装置Ｈ２０に関連する制御基板やスイッチ等が収

納された制御ボックスＨ９３等、玉磨き揚送装置Ｈ２０に関連する多数の装置が集中する場所にもなっていた。

【０００６】

【発明が解決しようとする課題】

したがって、このような従来の玉磨き揚送装置Ｈ２０を立設装備したパチンコ島台Ｈ１においては、上記したように、玉磨き揚送装置Ｈ２０を収納する場所は、その骨組を特別に形成し、且つ玉磨き揚送装置Ｈ２０に関連する多数の装置を取付るため、パチンコ島台Ｈ１の製造工程が煩雑化していた。特に、補給タンクＨ７０には、常に多数のパチンコ玉が貯留され、その重量により特別の負荷がかかるため、パチンコ島台Ｈ１の強度を高める作業、例えば補強鉄板Ｈ１９などを縦柱Ｈ１７に付設する作業などが必要となっているが、それらの作業は煩わしいものとなっていた。また、このようにパチンコ島台Ｈ１の強度を高めても、上記したパチンコ島台Ｈ１の骨組を一部削除した構成にあっては、強度的に限界がありパチンコ島台Ｈ１の寿命を短くしていた。

【０００７】

本発明は、上記した事情に鑑みなされたもので、その目的とするところは、パチンコ島台の製造工程を簡略化すると共に、耐久性のよいパチンコ島台を提供することにある。

【０００８】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するための請求項１の発明は、複数のパチンコ機を列設し、且つパチンコ機から排出された使用済玉を回収する回収樋と、該回収樋で回収した使用済玉を研磨揚送する玉磨き揚送装置と、該玉磨き揚送装置によって揚送された玉を受け入れる補給タンクと、該補給タンクが受け入れた玉を再度各パチンコ機に補給する補給樋と、を備えたパチンコ島台において、前記パチンコ島台は、前記パチンコ機を装着可能に構成された島台ユニットと、前記玉磨き揚送装置を設置するボックス型ユニットと、を連結することで構成され、前記ボックス型ユニットは、前記玉磨き揚送装置の上部が挿入され且つ前記補給タンクが備えられた上段ユニットと、前記玉磨き揚送装置の胴体部が挿入される縦長の中段ユニットと、前記玉磨き揚送装置の下部が挿入される下段ユニットによって構成されると共に、前記下段ユニットが前記中段ユニットに対してパチンコ島台長手方向に突出するように略Ｌ字状に形成され、前記中段ユニットは、該中段ユニットの上面部に水平方向に突出する上連結鍔と、該中段ユニットの下面部に水平方向に突出する下連結鍔と、を有し、前記上段ユニットの下面部と前記中段ユニットの上連結鍔とが水平方向に当接するように連結され、且つ前記下段ユニットの上面部と前記中段ユニットの下連結鍔とが水平方向に当接するように連結されることで前記ボックス型ユニットが枠組み形成され、前記島台ユニットは、前記ボックス型ユニットと連結される側が、その下部が前記下段ユニットの突出部が挿入されるように凹状に形成され、前記島台ユニットと前記ボックス型ユニットとを連結する際に、前記ボックス型ユニットの下段ユニットの突出部が前記島台ユニットの凹状部に重合し且つ前記ボックス型ユニットの中段ユニットと前記島台ユニットの端面が当接するように連結されることを特徴とする。

【０００９】

また、請求項２の発明は、請求項１記載のパチンコ島台において、前記ボックス型ユニットの上段ユニットは、前記島台ユニットの上端部と当接するように前記下段ユニットと同一方向に突出するように形成され、前記島台ユニットと前記ボックス型ユニットとを連結する際に、前記上段ユニットと前記下段ユニットとで前記島台ユニットを挟み込むようにして連結したことを特徴とする。

【００１０】

また、請求項３の発明は、請求項１又は請求項２記載のパチンコ島台において、前記ボックス型ユニットの上段ユニットは、前記補給タンクと前記島台ユニットに設けられる前記補給樋とを連結するための挿入樋が当該上段ユニットの側面から外部に突出するように設けられたことを特徴とする。

【００１１】

【作用】
したがって請求項１の発明によれば、パチンコ島台を、３つに分割構成されるボックス型ユニットと島台ユニットとを連結して構成し、しかも、島台ユニットとボックス型ユニットとを連結する際に、ボックス型ユニットの下段ユニットの突出部が島台ユニットの凹状部に重合し且つボックス型ユニットの中段ユニットと島台ユニットの端面が当接するように連結されるので、島台ユニットの負荷を軽減することができる。また、上記ボックス型ユニットは、上段、中段、下段の３分割構成にしたので玉磨き揚送装置の設置方向や形状及び種類などが変わっても、適宜各ユニットを変更するだけで即座に対応できる。特に、玉磨き揚送装置は、その構造の特性上、中段部分は縦長の一定形状が大半であるため、上記ボックス型ユニットは、玉磨き揚送装置の中段以外に対応するユニットを必要に応じて変更させればよい。

【００１２】
また、請求項２の発明によれば、ボックス型ユニットの上段ユニットは、島台ユニットの上端部と当接するように下段ユニットと同一方向に突出するように形成され、島台ユニットとボックス型ユニットとを連結する際に、上段ユニットと下段ユニットとで島台ユニットを挟み込むようにして連結したので、パチンコ島台の強度を高めるための特別の作業、例えば補強鉄板等の部材をパチンコ島台の柱に付設する作業等を省略することができる。

【００１３】
また、請求項３の発明によれば、ボックス型ユニットの上段ユニットは、補給タンクと島台ユニットに設けられる補給樋とを連結するための挿入樋が当該上段ユニットの側面から外部に突出するように設けられたので、パチンコ島台の製造工程は、ボックス型ユニットに玉磨き揚送装置を設置した後、パチンコ機や貯留タンク等を装設する島台ユニットを連結するだけでよく、玉磨き揚送装置に設けられる補給タンクを島台ユニットの補給樋に連結し調整する煩わしい作業は皆無となり、以前と比して著しく簡略化される。

【００１４】
【実施例】
以下、図面を参照して、本発明の実施例について説明する。まず、図１及び図２を参照して、実施例に係るパチンコ島台１の全体の概略構成について説明する。図１は、パチンコ島台１の斜視図である。図において、パチンコ島台１は、その長手方向に沿って多数のパチンコ機２を背向列設するようになっており、各パチンコ機２の上部には、呼出ランプ装置３が取り付けられる幕板４がパチンコ島台１の長手方向に沿って張り付けられ、その幕板４の上部に複数の欄間５が開閉自在に設けられている。

【００１５】
１つの欄間５は、パチンコ機２の２台分に対応する長さを有し、一般的に模様や図柄が描かれてパチンコ島台１の装飾効果を高めるようになっている。また、パチンコ島台１の内部上方に配置される後述の補給樋１０ａ，１０ｂで玉詰まり等のトラブルが生じたときに開放して、迅速にそのトラブルに対応できるようにしている。また、前記幕板４に取り付けられる呼出ランプ装置３は、パチンコ島台１に設置される各パチンコ機２にそれぞれ対応するように設けられると共に、近年においては、内蔵されるランプを被覆するランプカバーの形状や色彩にいろいろなデザインを付与して、その装飾効果を高めている。

【００１６】
一方、パチンコ島台１の下部には、腰板６が張り付けられ、この腰板６と前記パチンコ機２の下部との間にパチンコ島台１にほぼ直交するように外側に向かって突出されるカウンター台７が設けられている。また、パチンコ島台１の中央部には、後述する玉磨き揚送装置２０用の専用扉８が設けられ、その下部に取り外し自在に簡易カウンター台１７と開閉板１６が設けられている。開閉板１６は、スライド板を開閉させて後述する玉磨き揚送装置２０など、パチンコ島台１に内蔵された装置を通路側から操作できるようになっている。

【００１７】

次に、パチンコ島台１の内部について図２を参照しながら説明する。図２はパチンコ島台１の内部を示す正面図である。図において、パチンコ島台１は、木製や金属製の支柱でほぼ直方体状に骨組み形成され、その中央部から両端部に向かって傾斜状に補給樋１０ａ，１０ｂが設けられている。そして、補給樋１０ａ，１０ｂの途中に、各パチンコ機２に対応して分流器１１が設けられ、これによって補給玉が各パチンコ機２の背面上部に設けられる周知の賞品玉タンクに供給される。この分流器１１には、補給された玉の数を計数するための計数装置１２が付設されており、この計数装置１２から遊技場に設けられる管理コンピュータに補給玉信号が送られるようになっている。

【００１８】

一方、各パチンコ機２からは、打ち込まれた玉が個々のパチンコ機２の裏面下部に対応して設けられた図示しないアウト玉箱に排出され、このアウト玉箱から各回収樋１３ａ，１３ｂに排出されるようになっている。この回収樋１３ａ，１３ｂは、パチンコ島台１の両端部から中央部に向かって傾斜状に設けられるもので、右回収樋１３ａの終端部は貯留タンク１４、左回収樋１３ｂの終端部はサブタンク１５の接続位置に各々配設されている（ここでいう左右とは、図２から見た場合とし、以下左右及び前後の定義はこれに準ずるものとする）。

【００１９】

なお、アウト玉箱は、周知のように回収された玉の数を計数するための計数装置が付設されており、上記分流器１１と同様に管理コンピュータに回収玉信号が送られるようになっている。また、上記貯留タンク１４及びサブタンク１５は、当該パチンコ島台１のパチンコ遊技に支障しないようパチンコ玉をプールしておく装置であり、サブタンク１５の貯留玉は常に貯留タンク１４に流出するようになっており、貯留タンク１４の貯留玉は後述する玉磨き揚送装置２０に流出するようになっている。

【００２０】

ところで、本実施例におけるパチンコ島台１の中央には、図２乃至図５に示すように、本実施例の要部となるボックス型ユニット３５が形成され、該ボックス型ユニット３５の内部には玉磨き揚送装置２０及びその玉磨き揚送装置２０に関連する装備一式が設置されている。

【００２１】

そこで、まず玉磨き揚送装置２０の全体構成の概略について図７を参照しながら説明する。図７は、本実施例に係わる玉磨き揚送装置２０の斜視図である。図に示すように、玉磨き揚送装置２０は、支持台２１の上部に揚送筒本体２２が垂直状に立設され、揚送筒本体２２の内部を下部に支持されるモータ内蔵プーリ２３によって駆動される搬送ベルト２４が周回するようになっている。そして、揚送筒本体２２の下部には、貯留タンク１４から玉磨き前のパチンコ玉が流入する導入樋２５が形成され、揚送筒本体２２の上部には、玉磨き後のパチンコ玉が排出される上部カバー２６が形成されている。

【００２２】

一方、前記した揚送筒本体２２の背面側には、カバー板２７が一側辺を軸支されて開閉自在に取り付けられている。このカバー板２７は、前記搬送ベルト２４や布ベルト２８を玉磨き揚送装置２０に装着される際に開放されるものであると共に、布ベルト２８自体がカバー板２７を縦方向に周回するように装着される。そして、搬送ベルト２４や布ベルト２８が装着された時には、止着レバー２９によってカバー板２７を揚送筒本体２２に対面させた状態に維持されるようになっている。

【００２３】

したがって、導入樋２５から流入したパチンコ玉は、搬送ベルト２４によって揚送され、上部カバー２６から排出されるが、その揚送される過程で布ベルト２８との摩擦力によってパチンコ玉に付着した汚れが拭き取られ、上部カバー２６からは、きれいにされたパチンコ玉が排出されることになる。

【００２４】

また、上記したカバー板２７の背面には、布ベルト２８の巻取装置を構成する巻取機構

部３０と装着機構部３１とが取り付けられている。この巻取装置は、布ベルト２８の汚れがひどくなると自動的に布ベルト２８を巻取る装置であり、巻取機構部３０は、モータの駆動力により使用済の布ベルト２８を巻取るものであり、装着機構部３１は、使用前の布ベルト２８を装着するようになっている。このように構成される玉磨き揚送装置２０は、パチンコ島台１に対し、その側面を通路側に向けて設置される。なお、玉磨き揚送装置２０は、本実施例とは別に、螺旋体によって研磨ペレットと玉とを混合しながら揚送する形式のもの、又は、ベルトにバケットを固定した形式のものであってもよい。

【００２５】

次に、ボックス型ユニット３５及び玉磨き揚送装置２０の関連装置の構成について、図２乃至図５を参照して詳述する。図２は、前記したようにパチンコ島台１の正面図であり、図３は、ボックス型ユニット３５の枠組み構成を示す斜視図であり、図４は、ボックス型ユニット３５に玉磨き揚送装置２０と、それに関連する装置一式が設置された状態を示す斜視図であり、図５は、溢球装置８０の内部構造を示す断面図である。図において、ボックス型ユニット３５は、前記したようにパチンコ島台１における玉磨き揚送装置２０の設置場所であり、その内部には玉磨き揚送装置２０に関連する多数の部品が設置されるようになっている。まず、ボックス型ユニット３５の骨組について図３を参照して説明すると、ボックス型ユニット３５は、略Ｌ字状の箱型に鉄板等の金属性部材で枠組み形成され、その枠組みは、上段ユニット４０、中段ユニット５０及び下段ユニット６０とで構成されており、各ユニット４０，５０，６０は、取り外し自在に適宜手段で固定（図示の場合、ボルトとナットで螺着）されている。

【００２６】

上段ユニット４０は、パチンコ機２に玉を補給するための装置が設置されるユニットであり、パチンコ島台１上部に設けられた前記欄間５に、上方に向かって突出する形で架設され、したがって、パチンコ島台１のなかで最も高い場所に形成される装置となっている。

【００２７】

上記上段ユニット４０は、その全体を鉄板などの金属性部材で横長のほぼ直方体状に形成され、その前面部及び後面部は、内装される部品等が設置しやすいよう開放状に設けられ、上面部には、薄板４１が両側面部に架設されている。この薄板４１は、後述する補給タンク７０及び簡易タンク７１の上面部を押圧するように設けられ、両タンク７０，７１の設置状態を強固にすると共に、装飾などの部材を付設できるようになっている。また、上段ユニットの下面部は、玉磨き揚送装置２０の上部が挿入できるよう、その一部が欠切されて開放状に設けられ、その両側には、底板４２ａ，４２ｂが形成されている。右底板４２ａは、後述する補給タンク７０がその下面部を当接させて設置できるよう幅広状に設けられ、左底板４２ｂは、後述する補給タンク７０からの分配樋７２が架設される簡易タンク７１がその下面部を当接させて設置できるよう、上記右底板４２ａより幅狭状に設けられている。この底板４２ａ，４２ｂは、上記したように補給タンク７０や簡易タンク７１が設置され、それらの装置の重量などで負荷が大きくかかるので、板厚の大きな鉄板で形成するのが望ましく、また、底板４２ａ，４２ｂの内側よりの端部には、中段ユニット５０と連結するための複数の孔が各々穿設されている。また、上段ユニットの両側面部には、縦板４４が垂設されている。この縦板４４は、補給タンク７０及び簡易タンク７１の側面部を外側から当接させて両タンク７０，７１の設置状態を補強するようになっており、上記した薄板４１と同様の板厚で形成されている。また、縦板４４の中央部には、前記した補給樋１０ａ，１０ｂと補給タンク７０及び簡易タンク７１が連通できるよう開口部４３が縦板４４を欠切して設けられている。

【００２８】

中段ユニット５０は、パチンコ玉を磨いて揚送したり余剰玉を落下させて前記貯留タンク１４に還流する装置が設置されるユニットであり、前記したパチンコ島台１のカウンター台７の箇所から欄間５の上端に亘って設けられ、したがって、パチンコ島台１の上下方向のほぼ中央に位置するように形成される装置となっている。

【００２９】
上記中段ユニット５０は、その全体を鉄板などの金属性部材で縦長のほぼ直方体状に形成され、その上・下面部及び前面部は開放状に設けられ、玉磨き揚送装置２０の胴体部やその他の機器が挿入できるようになっている。まず、中段ユニット５０の上面部は、上記したように開放状に設けられ、その両側部には上段ユニット４０と連結できるよう外側に向かって連結鍔５１が突出して設けられている。この連結鍔５１の内側よりの端部には、前記上段ユニット４０と同数の複数の孔が穿設されている。一方、中段ユニット５０の下面部は、上記上面部と同様開放状に設けられ、その両側部には下段ユニット６０と連結できるよう内側に向かって連結鍔５５が突出して設けられている。この連結鍔５５は、後述する溢球装置８０の落下球樋８１ａ，８１ｂが嵌着できるよう、中段ユニット５０本体の前端からほぼ中央部までに設けられており、その中央よりの箇所には上記上面部と同様に複数の孔が穿設されている。また、中段ユニット５０の後面部は、補強用の横板５３が両側に架設されて略梯子状に形成されており、後述する溢球装置８０が後ろ側から付設できるようになっている。また、中段ユニット５０の両側面部は、幅広状の縦板５２に横板５３が架設されて開口部５４が形成されている。この開口部５４は、コインや紙幣の回収樋を挿通させたり、その他の装備、例えば取り替え用の布ベルト２８や搬送ベルト２４を収納しておくボックスなどを必要に応じて付設できるようにするものである。なお、縦板５２は、前記した上段ユニット４０の薄板４１や縦板４３と同様の薄い板厚で形成し、中段ユニット５０の重量を軽減するのが望ましい。

【００３０】
下段ユニット６０は、前記貯留タンク１４から揚送するためのパチンコ玉を導入したり、同貯留タンク１４へ前記した溢れ玉や回収玉を流出させるための装置が設置されるユニットであり、前記したパチンコ島台１の腰板６箇所に幅広状に設けられ、したがって、パチンコ島台１の下部に位置して同島台の基礎になる装置となっている。

【００３１】
上記下段ユニット６０は、その全体を鉄板などの金属性部材でほぼ立方体状に形成され、その前面部及び後面部は、内装される部品等が設置しやすいように開放状に設けられ、下面部には、基礎板６１が両側面部に亘って敷設されている。この基礎板６１は、前記した上段ユニット４０の薄板４１や縦板４３及び中段ユニット５０の縦板５２に比して十分な厚みを有する板で、ボックス型ユニット３５全体の基礎となる板になっている。また、基礎板６１は、その前端部６２が両側面部より突出した状態で設けられている。この前端部６２は、玉磨き揚送装置２０を装着する際、玉磨き揚送装置２０の下部を一旦載置してからスライドさせるための板で、玉磨き揚送装置２０が装着しやすいようになっている。一方、下段ユニット６０の上面部は、薄板６３が両側面部に架設され、中段ユニット５０の下面部の開放部分と重なる箇所が薄板６３から欠切され形成されている。これは、玉磨き揚送装置２０の下部が挿入できるようにすると共に、後述する溢球装置８０と溢球返却樋９０ａ，９０ｂが連結設置できるようにするものである。また、下段ユニット６０の両側面部には、縦板６４ａ，６４ｂが垂設され、縦板６４ａには６５ａ（図示省略），６６ａ，６７、縦板６４ｂには６５ｂ，６６ｂの各々矩形状の開口が穿設されている。即ち、この縦板６４ａ，６４ｂには、後述する溢球装置８０と貯留タンク１４・サブタンク１５に連通している溢球返却樋９０ａ，９０ｂが挿通できる開口６５ａ，６５ｂと、サブタンク１５と貯留タンク１４を連結する連結樋９１が挿通できる開口６６ａ，６６ｂが設けられており、さらに右縦板６４ａには、玉磨き揚送装置２０の導入樋２５が挿通される開口６７が設けられている。なお、縦板６４ａ，６４ｂは、前記した上段ユニット４０の薄板４１や縦板４３及び中段ユニット５０の縦板５２と同様の薄い板厚で形成し、下段ユニット６０の重量を軽減するのが望ましい。

【００３２】
以上、ボックス型ユニット３５の枠組を構成する上段ユニット４０、中段ユニット５０、下段ユニット６０の構造について詳述したが、これらのユニットの他に、前記した図１で示す簡易カウンター台１７と開閉板１６の箇所を一体的に成形したユニットを設け、該

ユニットを下段ユニット６０に着脱自在に適宜手段で付設させてもよい。この場合には、簡易カウンター台１７の長さや開閉板１６の形状などは、パチンコ島台１の態様によって決定すればよい。例えば、景品玉返却装置（図示省略）のないパチンコ島台１や景品玉返却装置が島端に設けられるパチンコ島台１の場合には、図１に示すように簡易カウンター台１７は短く形成し、開閉板１６は左右にスライドさせる方式のものでよく、また、景品玉返却装置が島中央に設置（ボックス型ユニット３５に隣接設置）されるパチンコ島台１の場合には、図示していないが、簡易カウンター台１７は、遊技客が景品玉返却装置に返却する遊技で獲得した景品玉を入れた玉箱や遊技客の荷物等が載置できるよう上記したものに比して十分長く形成し、開閉板１６は、その長く形成した簡易カウンター１７と等しい長さで設けると共に、その一部に上記した玉箱を多数収納できる棚などを併設しておくとよい。なお、開閉板１６は、上記したスライド方式以外に、その一側を蝶番など止着して水平方向や垂直方向に開閉する扉方式や、開閉する部分を取り外しできる方式などであってもよい。

【００３３】

次に、ボックス型ユニット３５に内装される玉磨き揚送装置２０の関連装置の構成について、図２、図４及び図５を参照して説明する。まず、上段ユニット４０に内装される装置から説明すると、上段ユニット４０には補給タンク７０、分配樋７２、簡易タンク７１及び誘導樋７３が設置されている。補給タンク７０は、ほぼ箱状に形成され、玉磨き揚送装置２０からの揚送玉を受け入れて左右の補給樋１０ａ，１０ｂに分配する装置であり、その略中央部に分配坂７４と、該分配坂７４の下部に溢玉通路７５が設けられている。分配坂７４は、補給タンク７０に貯留されたパチンコ玉を左右に分配して送出する板であり、溢玉通路７５は、補給タンク７０の余剰玉を後述する溢球装置８０に送出する通路である。また、補給タンク７０の内部一側（右側）には、分配坂７４からのパチンコ玉を一旦貯留する貯留部７６が設けられ、該貯留部７６には右補給樋１０ａと連通する開口部７８ａ（図示省略）が設けられている。

【００３４】

一方、補給タンク７０の他側（左側）外部には、分配樋７２が簡易タンク７１に架設されている。分配樋７２は、分配坂７４からのパチンコ玉を簡易タンク７１まで流送させる樋であり、簡易タンク７１は、分配樋７２から流入したパチンコ玉を一旦貯留する装置で、左補給樋１０ｂと連通する開口部７８ｂが設けられている。また、両タンク７０，７１には、上記開口部７８ａ，７８ｂの下部に補給樋１０ａ，１０ｂと連結するための挿入樋７７ａ（図６参照），７７ｂが突設されている。なお、前記溢玉通路７５の玉出口には誘導樋７３が接続されており、該誘導樋７３の下端部は、後述する溢球装置８０に接続されている。

【００３５】

次に、中段ユニット５０に内装される溢球装置８０について説明する。溢球装置８０は、図２及び図５で示すように中段ユニット５０の後面部、即ち玉磨き揚送装置２０の後側に左右に四角柱状の落下球樋８１ａ，８１ｂが垂設され、その上部に前記誘導樋７３からの玉を受け入れる箱状の振分タンク８２が設けられている。落下球樋８１ａ，８１ｂは、パチンコ機２における賞品玉の使用が少なく補給樋１０ａ，１０ｂへの玉の補給が必要なくなり、結果的に補給タンク７０内の貯留玉が誘導樋７３から落下したとき、余剰の玉を玉磨き揚送装置２０の下部両側に設置される貯留タンク１４とサブタンク１５に還流するものである。また、振分タンク８２の内部には、右落下球樋８１ａの上端部に玉振分突片８３が形成されている。この玉振分突片８３は、誘導樋７３からの落下玉を優先的に右落下球樋８１ａへ誘導し、その後右落下球樋８１ａ内に玉が十分に貯留したときには、玉振分突片８３から溢れた玉を左落下球樋８１ｂへ誘導するものである。

【００３６】

また、上記落下球樋８１ａ，８１ｂの左右の各内壁には、夫々図５に示すように、落下球樋８１ａ，８１ｂの上端部から下端部にかけて複数の規制壁８４が所定の間隔を置いて突設されており、落下球樋８１ａ，８１ｂは、玉通路が直行的なものから蛇行状のものと

なっている。これにより、落下球樋８１ａ，８１ｂの内部を流下する玉は、流下速度が緩和されると共に玉の貯留速度が緩和され、落下球樋８１ａ，８１ｂ内での短時間における急激な貯留が回避されるようになっている。

【００３７】

なお、この溢球装置８０は、玉の流下状況が一目でわかるように、その一部に合成樹脂や強化ガラス等の透過性を有する部材で窓を設けるとよい。そうすることで、パチンコ島台１の玉の循環状態が容易に把握することができると共に、玉詰まり等のトラブルにも迅速に対処できる。透視形状を施す箇所は適宜でよいが、望ましくは落下球樋８１ａ，８１ｂの前面側に設けるとよい。

【００３８】

次に、下段ユニット６０に内装される溢球返却樋９０ａ，９０ｂ、連結樋９１、開閉装置９２及び制御ボックス９３について説明する。溢球返却樋９０ａ，９０ｂは、前記溢球装置８０の落下球樋８１ａ，８１ｂから流出した玉を貯留タンク１４及びサブタンク１５に返却する樋であり、下段ユニット６０の上部後面（玉磨き揚送装置２０の後側）に付設されている。連結樋９１は、サブタンク１５に貯留された玉を貯留タンク１４に還流させて再び玉磨き揚送装置２０に導入させるための樋であり、下段ユニット６０のほぼ中央後面部（玉磨き揚送装置２０の後側）に斜設されている。開閉装置９２は、貯留タンク１４から玉磨き揚送装置２０に流入する玉を制御する装置であり、下段ユニット６０の右縦板６４ａ下部に付設され、モータを駆動源にして矩形状の開閉板を上下にスライドさせて、貯留タンク１４の玉出口３９を開閉するようになっている。制御ボックス９３は、玉磨き揚送装置２０に関連する全ての制御スイッチや制御基板、例えば玉磨き揚送装置２０本体や布ベルト２８の自動巻取装置及び上記した開閉装置９２等の駆動制御に関連するデバイスなどが集約して内設されている装置であり、下段ユニット６０の右縦板６４ａ上部に付設されている。

【００３９】

次に、以上のように構成されるボックス型ユニット３５を用いてパチンコ島台１を製造する工程について図６を参照しながら説明する。図６は、ボックス型ユニット３５と島台ユニット９ａ，９ｂを分離した状態を示すパチンコ島台１の正面図である。図において、予め上記した部品を装着したボックス型ユニット３５は、パチンコ島台１の中央となる場所に設置し、玉磨き揚送装置２０を所定位置に設置する。そして、その両側から前記した補給樋１０ａ，１０ｂや回収樋１３ａ，１３ｂ及び貯留タンク１４などの装置が内蔵された複数のパチンコ機２を設置する島台ユニット９ａ，９ｂと連結する。しかして、ボックス型ユニット３５に設けられた装備一式は、島台ユニット９ａ，９ｂの装置と所定の位置で係合するようになっている。即ち、補給タンク７０及び簡易タンク７１の挿入樋７７ａ，７７ｂと補給樋１０ａ，１０ｂの玉流入口１８ａ，１８ｂ、溢球返却樋９０ａ，９０ｂの終端と貯留タンク１４及びサブタンク１５の玉流入口３７，４７、連結樋９１の両端とサブタンク１５の玉出口４８及び貯留タンク１４の玉流入口３８、玉磨き揚送装置２０の導入樋２５及び開閉装置９２の開閉板と貯留タンク１４の玉出口３９が全て係合するようになっている。

【００４０】

したがって、パチンコ島台１の製造工程は、ボックス型ユニット３５の装置と島台ユニット９ａ，９ｂの装置との連結及び調整をする煩わしい作業が上記した理由で不要となり、極めて容易となる。また、金属部材で形成されたボックス型ユニット３５を中央にして島台ユニット９ａ，９ｂをその両側に連結するので、パチンコ島台１の強度を向上させることができる。特に、上段ユニット４０及び下段ユニット６０の中段ユニット５０から右側に張り出た箇所に、島台ユニット９ａの枠組みがサンドイッチ状に重合する構造となっているので、補給タンク７０（特にパチンコ玉が多数貯留されているとき）や島台ユニット９ａ本体の負荷を軽減することができ、パチンコ島台１の強度を高めるための特別の作業、例えば補強鉄板等の部材をパチンコ島台１の柱に付設する作業等を省略することができる。

【００４１】
また、ボックス型ユニット３５と島台ユニット９ａ，９ｂの連結手段は適宜でよく、例えば、ボルトとナットで両ユニット３５と９ａ，９ｂの適宜箇所を各々螺合すればよい。なお、ボックス型ユニット３５と島台ユニット９ａ，９ｂとの連結終了後、ボックス型ユニット３５の周囲に化粧板等を囲設し、その前面側（玉磨き揚送装置２０の出入りする側）に玉磨き揚送装置２０用の専用扉８を装着し、その下部に簡易カウンター台１７と開閉板１６を着脱自在に装着する。
【００４２】
次に、上記したように構成されるボックス型ユニット３５を用いたパチンコ島台１の玉の流れについて図２を参照しながら説明する。まず、玉磨き揚送装置２０は、モータを内蔵した下部プーリ２３により無端状の搬送ベルト２４が回転駆動され、この搬送ベルト２４の摩擦力により貯留タンク１４から導入樋２５を介して導入された玉が布ベルト２８に接触しながら上昇せしめられ、最終的に上部カバー２６から補給タンク７０に排出される。そして、補給タンク７０に排出された玉は、分配坂７４でほぼ均等に分配されて補給樋１０ａ，１０ｂへ補給される。この際、右補給樋１０ａには、分配坂７４からの玉が一旦貯留部７６に貯留されてから流出され、一方、左補給樋１０ｂには、分配坂７４からの玉は分配樋７２に流出し、それから簡易タンク７１で一旦貯留されてから排出されるようになっている。そして、補給樋１０ａ，１０ｂに流入した玉は、パチンコ機２に流出するように貯留されている。したがって、パチンコ機２からの賞品玉の排出が多いときは、補給樋１０ａ，１０ｂに貯留している玉は、パチンコ機２へ流下するので補給樋１０ａ，１０ｂに供給される玉は多くなる。また、逆にパチンコ機２への打ち込み玉が多いときは、補給樋１０ａ，１０ｂに貯留されている玉は変動しないので、補給樋１０ａ，１０ｂの玉補給が満量となり、補給タンク７０の玉は、分配坂７４から溢れて後ろ側を通って溢球通路７５に落下し、さらに誘導樋７３を通って溢球装置８０に落下する。
【００４３】
溢球装置８０に落下した玉は、振分タンク８２の玉振分突片８３により、まず右落下球樋８１ａに導出され、規制壁８４によって流下速度を緩めながら溢球返却樋９０ａを通って貯留タンク１４に流入する。この玉の流れは、貯留タンク１４の玉貯留量が満量になるまで繰り返される。そして、パチンコ機２への打ち込み玉や景品玉返却装置（図示省略）からの返却玉が多くなって回収樋１３ａ，１３ｂから貯留タンク１４への玉の流入が多くなると、貯留タンク１４の玉貯留量が満杯となり、今度は逆に溢球返却樋９０ａから右落下球樋８１ａへと玉が貯留され、さらに右落下球樋８１ａの玉貯留量が満杯になると、玉振分突片８３を乗り越えて左落下球樋８１ｂに玉が流入する。そして、左落下球樋８１ｂに流入した玉は、右落下球樋８１ａと同様に規制壁８４で流下速度を緩めながら溢球返却樋９０ｂへと落下し、サブタンク１５へと導出され、回収樋１３ｂからの回収玉と共にサブタンク１５に貯留される。この玉の流れは、貯留タンク１４の玉貯留量が満杯になっている間は繰り返される。
【００４４】
そして、パチンコ機２からの賞品玉の排出が多くなって玉磨き揚送装置２０からの揚送玉が多量に補給樋１０ａ，１０ｂへ導出されるようになったとき、即ち貯留タンク１４の玉貯留量が減少してきたとき、サブタンク１５の貯留玉は、連結樋９１を流下して再び貯留タンク１４に導出される。
【００４５】
以上のように、本実施例のパチンコ島台１においては、ボックス型ユニット３５に設置された玉磨き揚送装置２０やその他の装置によって、貯留タンク１４から研磨揚送された玉は、補給樋１０ａ，１０ｂを介して各パチンコ機２に供給され、余剰玉は貯留タンク１４に還流され、一方、各パチンコ機２で使用された使用済玉も回収樋１３ａ，１３ｂによって貯留タンク１４に還流され、玉磨き揚送装置２０に集められて再度研磨揚送されて補給樋１０ａ，１０ｂに供給される。つまり、遊技玉は、パチンコ島台１の内部で循環使用されていることになる。

【００４６】
次に、図８を参照して、ボックス型ユニット３５の第２実施例となる他の仕様について説明する。図８は、玉磨き揚送装置２０をパチンコ島台１に対し、その前後面を通路側に向けて（以下、後向きという）設置したときのパチンコ島台１の部分背面図である。図においてボックス型ユニットＡ３５は、前記した第１実施例の中段ユニット５０を共通部品として使用し、上段・下段ユニットＡ４０，Ａ６０は、前記した第１実施例のものに比して横幅が狭い形状のもので、中段ユニット５０よりやや大きめの横幅のものを使用しており、一連全長に亘ってほぼ直方体状に形成されている。これは、玉磨き揚送装置２０がパチンコ島台１に後向きに設置されているからであり、このような場合には、上段ユニットＡ４０における補給タンクＡ７０の位置や、下段ユニットＡ６０における玉磨き揚送装置２０の下部プーリ２３の張り出しや導入樋Ａ２５の形状等も変わってくるからである。

【００４７】
上記したように、玉磨き揚送装置２０は後向きに設置されているので、玉磨き揚送装置２０の排出口となる上部カバー２６の玉出口も、パチンコ島台１に対し後向きに配置されることになる。したがって、補給タンクＡ７０は、上段ユニットＡ４０後面側の両側面に亘って付設されるように形成され、そこから直接補給樋１０ａ，１０ｂに玉を導出するようになっている。そのため、前記した分配樋７２や簡易タンク７１は省略することができ、上段ユニットＡ４０は、前記したものに比して横幅が小さいものが使用できる。

【００４８】
また、下段ユニットＡ６０においても、上記したように玉磨き揚送装置２０は後向きに設置されているので、玉磨き揚送装置２０の搬送ベルト２４を駆動させる下部プーリ２３も、パチンコ島台１に対し後向きに配置されることになり、横への張り出しを小さくすることができる。さらに、貯留タンク１４やサブタンク１５からの貯留玉を玉磨き揚送装置２０へ導入させる下部プーリ２３の下方に設けられる導入樋Ａ２５は、両タンク１４，１５から直接玉を導入するよう、１本の樋が両タンク１４，１５の玉出口Ａ３３，Ａ３４の間に架設され、その中央で合流させてから玉磨き揚送装置２０本体に向かうもう１本の樋でほぼＴ字状に形成されるので、これもまた、上記と同様横への張り出しを小さくすることができる。したがって、前記した両タンク１４，１５を連結する連結樋９１を省略することができ、下段ユニットＡ６０は、前記したものに比して横幅が小さいものが使用できる。なお、この場合には、前記した開閉装置９２を下段ユニットＡ６０の両側に付設し、貯留タンク１４とサブタンク１５の玉出口Ａ３３，Ａ３４を制御すればよい。

【００４９】
以上詳述したように、本実施例のパチンコ島台１においては、玉磨き揚送装置２０を設置するパチンコ島台１の中央部にボックス型ユニット３５を形成し、該ボックス型ユニット３５に、玉磨き揚送装置２０に関連する多数の機器を予め内設するよう構成したので、ボックス型ユニット３５の両側から島台ユニット９ａ，９ｂを各々連結するだけで、極めて容易にパチンコ島台１を組み立てることができ、従来までの煩わしいパチンコ島台１中央部の連結作業を省略することができる。

【００５０】
また、ボックス型ユニット３５は、鉄板等の金属性部材で形成され、さらに上段ユニット４０と下段ユニット６０で島台ユニット９ａの枠組みを略挟み込むように構成したので、補給タンク７０の重量等で負荷の大きなパチンコ島台１中央部の強度を増すことができる。

【００５１】
また、ボックス型ユニット３５は、上段・中段・下段ユニット４０，５０，６０の３分割に構成したので、玉磨き揚送装置２０の設置方向や形状及び種類等が変わっても対応することができる。特に玉磨き揚送装置２０は、その構造の特性上、中段ユニット５０に対応する部分は縦長の一定形状が大半であるため、したがって上段・下段ユニット４０，６０を変更するだけで対応することが可能となる。

【００５２】

さらに、中段ユニット５０に、溢球装置８０を最短区間で併設し、従来までのオーバーフローホースを省略したので、オーバーフローホースが他の機器に支障したり、その取付や点検などの煩わしい作業がなくなると共に、オーバーフローホースが破損して発生する遊技上のトラブルが皆無となる。

【００５３】

以上、実施例について説明したが、本発明は上記実施例に限定されるものではなく、種々の態様で実施し得る。例えば、本実施例のパチンコ島台１においては、ボックス型ユニット３５を中央部に設けたが、これは端部に設けてもよく、パチンコ島台１の適宜箇所に設ければよい。また、ボックス型ユニット３５は、パチンコ島台１に対し１基設けるようにしたが、これは複数あってもよい。また、ボックス型ユニット３５は、鉄板等の金属性部材により成形する例を示したが、この材質は、ＦＲＰ等の合成樹脂や木製であってもよい。また、ボックス型ユニット３５は、上段・中段・下段ユニット４０，５０，６０の３分割に構成したが、これは何分割でもよく、一体的に形成してもよく、さらに上段・中段・下段ユニット４０，５０，６０の材質を各々変えて構成してもよい。例えば、上段ユニット４０は、重量の軽い木製で形成し、中段ユニット５０は、パチンコ機２などの機器の電子部品に影響するノイズの防止効果が高い合成樹脂で形成し、下段ユニット６０は、パチンコ島台１の基礎となるよう強度の高い金属性部材で形成してもよい。

【００５４】

また、本実施例のボックス型ユニット３５は、図１に示すようなパチンコ機２が長手方向に８台背向列設される（合計１６台）パチンコ島台１に適用されるものを示したが、これはパチンコ島台１の態様の違いにも対応できるよう、ボックス型ユニット３５の分割数を多くしたり、予め態様の異なるパチンコ島台１用のボックス型ユニット３５を製造しておけばよい。例えばパチンコ島台１の態様としては、パチンコ機２を片側だけに設置する所謂壁島や、パチンコ機２とスロットマシーン等のパチンコ機２と種類のことなる遊技機を併せて設置する所謂併用島、または設置されるパチンコ機２の台数が多い（例えば５０台）大型の島台や、設置されるパチンコ機２の台数が少ない（例えば１０台）島台などがある。このように様々な態様があるパチンコ島台１は、それ自身の寸法などは勿論のこと、その態様によってボックス型ユニット３５に内装される玉磨き揚送装置２０などをはじめとする多数の装置の態様も異なってくる。したがって、上記したように、ボックス型ユニット３５の分割数を多くしたり、予めパチンコ島台１の特徴に合わせたボックス型ユニット３５を用意しておけば、必要なユニットを選択することで、上記した種々の態様があるパチンコ島台１にも即座に対応できる。

【００５５】

また、パチンコ島台１に貯留タンク１４とサブタンク１５とを設けた場合を示したが、サブタンク１５は、省略してもよいし又は貯留タンク１４に変更してもよく、パチンコ店が所望するパチンコ島台１の玉貯留量に応じて選択すればよい。なお、サブタンク１５を省略した場合には、前述した溢球装置８０の左落下球樋８１ｂも省略されることになる。

【００５６】

また、第２実施例においては、補給タンク７０からの溢れ玉を直接サブタンク１５に落下させるためのサクションホースを設けてもよい。このサクションホースは、常にサブタンク１５に一定の玉を貯留させて、後向きに設置される玉磨き揚送装置２０に両側から均等に玉を送り込むための装置であり、したがって溢球装置８０は、サクションホースに貯留される玉が満量になってから導出されるように形成すればよい。

【００５７】

【発明の効果】

以上、説明したところから明らかなように、請求項１の発明においては、パチンコ島台を、３つに分割構成されるボックス型ユニットと島台ユニットとを連結して構成し、しかも、島台ユニットとボックス型ユニットとを連結する際に、ボックス型ユニットの下段ユニットの突出部が島台ユニットの凹状部に重合し且つボックス型ユニットの中段ユニットと島台ユニットの端面が当接するように連結されるので、島台ユニットの負荷を軽減する

ことができる。また、上記ボックス型ユニットは、上段、中段、下段の３分割構成にしたので玉磨き揚送装置の設置方向や形状及び種類などが変わっても、適宜各ユニットを変更するだけで即座に対応できる。特に、玉磨き揚送装置は、その構造の特性上、中段部分は縦長の一定形状が大半であるため、上記ボックス型ユニットは、玉磨き揚送装置の中段以外に対応するユニットを必要に応じて変更させればよい。

【００５８】

また、請求項２の発明においては、ボックス型ユニットの上段ユニットは、島台ユニットの上端部と当接するように下段ユニットと同一方向に突出するように形成され、島台ユニットとボックス型ユニットとを連結する際に、上段ユニットと下段ユニットとで島台ユニットを挟み込むようにして連結したので、パチンコ島台の強度を高めるための特別の作業、例えば補強鉄板等の部材をパチンコ島台の柱に付設する作業等を省略することができる。

【００５９】

また、請求項３の発明においては、ボックス型ユニットの上段ユニットは、補給タンクと島台ユニットに設けられる補給樋とを連結するための挿入樋が当該上段ユニットの側面から外部に突出するように設けられたので、パチンコ島台の製造工程は、ボックス型ユニットに玉磨き揚送装置を設置した後、パチンコ機や貯留タンク等を装設する島台ユニットを連結するだけでよく、玉磨き揚送装置に設けられる補給タンクを島台ユニットの補給樋に連結し調整する煩わしい作業は皆無となり、以前と比して著しく簡略化される。

【図面の簡単な説明】

【図１】　実施例に係わるパチンコ島台を示す斜視図である。

【図２】　上記パチンコ島台の内部構造を示す正面図である。

【図３】　ボックス型ユニットの分割構成を示す斜視図である。

【図４】　ボックス型ユニットに関連機器を設置した構成を示す斜視図である。

【図５】　溢球装置の断面図である。

【図６】　ボックス型ユニットと島台ユニットとに分割された状態を示す上記パチンコ島台の正面図である。

【図７】　玉磨き揚送装置の斜視図である。

【図８】　ボックス型ユニットの他の実施例を示す上記パチンコ島台の正面図である。

【図９】　従来技術のパチンコ島台の内部構造を示す正面図である。

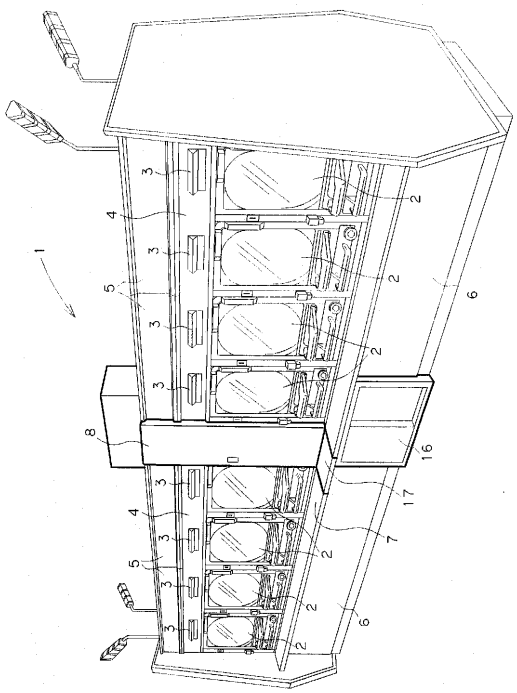
【図１０】　従来技術のパチンコ島台の内部構造を示す斜視図である。

【符号の説明】

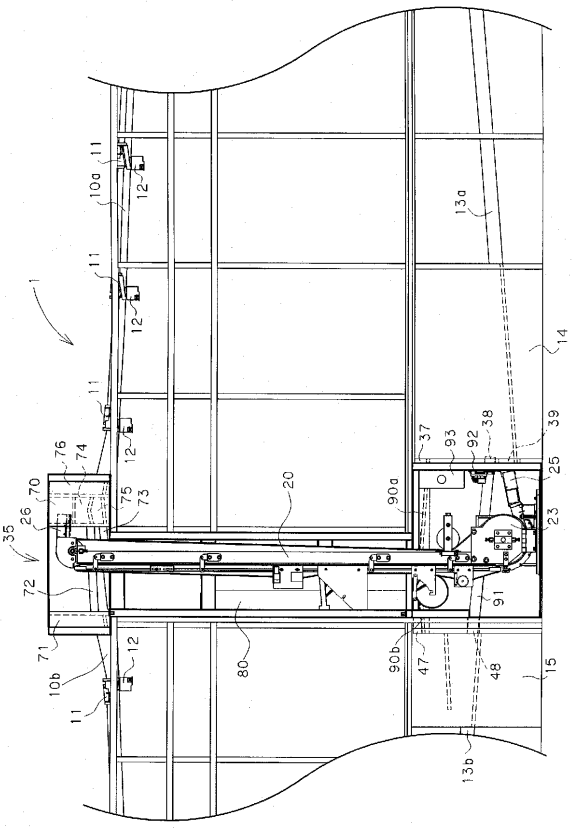
１・・・パチンコ島台
２・・・パチンコ機
９ａ，９ｂ・・・島台ユニット
１０ａ，１０ｂ・・・補給樋
１３ａ，１３ｂ・・・回収樋
１４・・・貯留タンク
１５・・・サブタンク
２０・・・玉磨き揚送装置
２３・・・プーリ
２５・・・導入樋
３５・・・ボックス型ユニット
４０・・・上段ユニット
５０・・・中段ユニット
６０・・・下段ユニット
７０・・・補給タンク
７１・・・簡易タンク
７２・・・分配樋
７３・・・誘導樋

８０・・・溢球装置
８１ａ，８１ｂ・・・落下球樋
９０ａ，９０ｂ・・・溢球返却樋
９１・・・連結樋

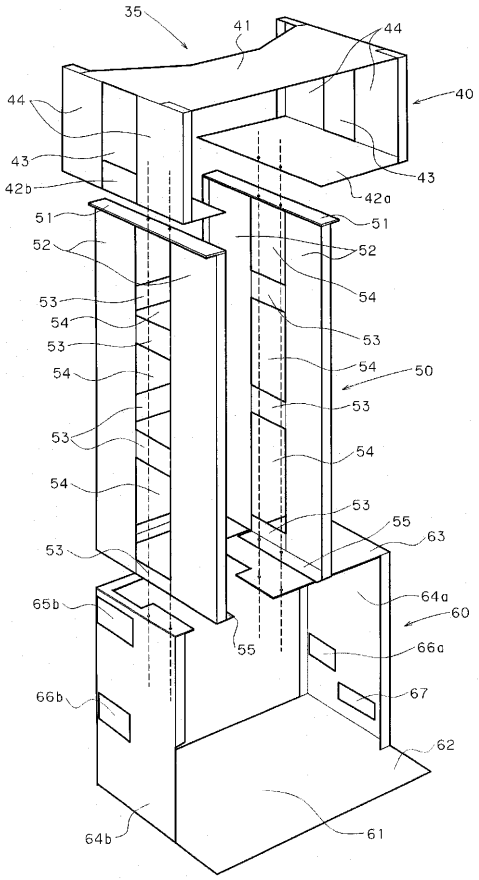
【図１】



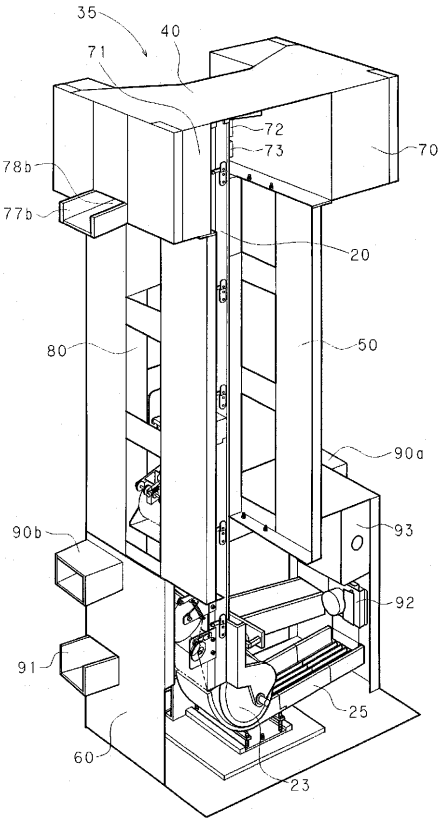
【図２】



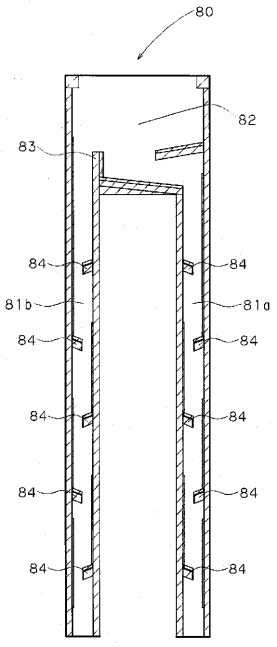
【図３】


35
41
44
40
44
43
42b
43
42a
51
51
52
52
54
53
54
53
53
54
50
53
54
53
54
53
55
63
53
64a
65b
60
55
66a
66b
67
62
64b
61

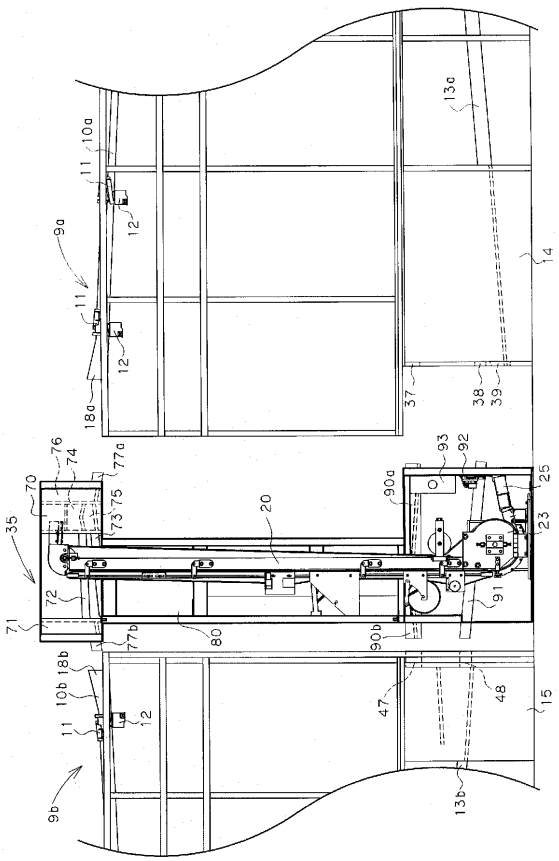
【図４】


35
40
71
72
73
70
78b
77b
20
80
50
90a
90b
93
92
91
25
60
23

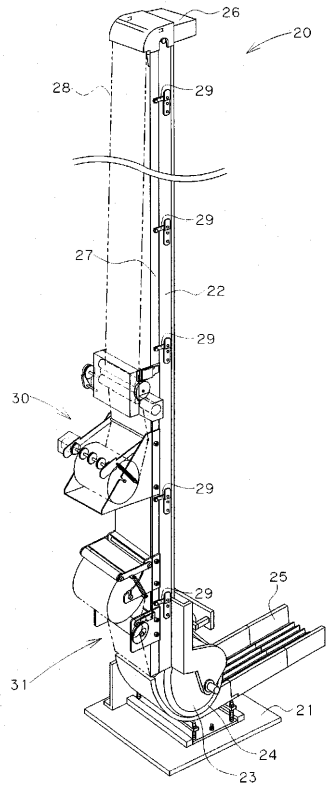
【図５】


80
82
83
84
84
81b
81a
84
84
84
84
84
84
84
84
84
84

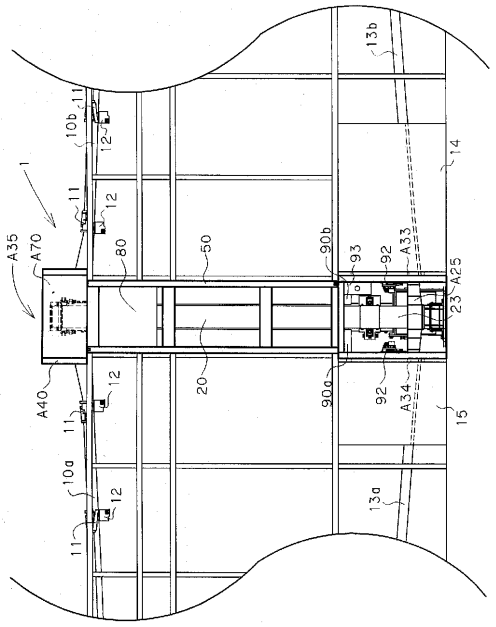
【図６】


13a
10a
11
12
9a
11
12
14
18a
37
38
39
76
74
77a
93
92
25
70
73
75
90a
20
23
35
72
91
71
77b
80
90b
18b
10b
11
12
47
48
15
9b
13b

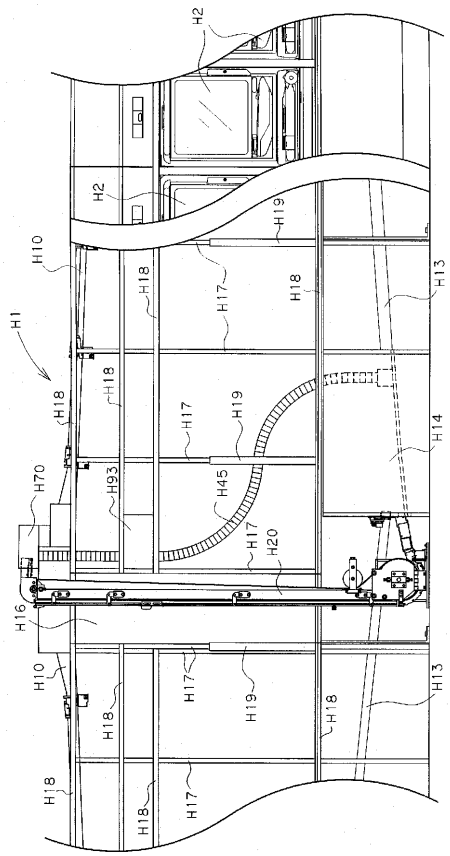
【図７】


26
20
28
29
29
27
22
29
30
29
29
25
31
21
24
23

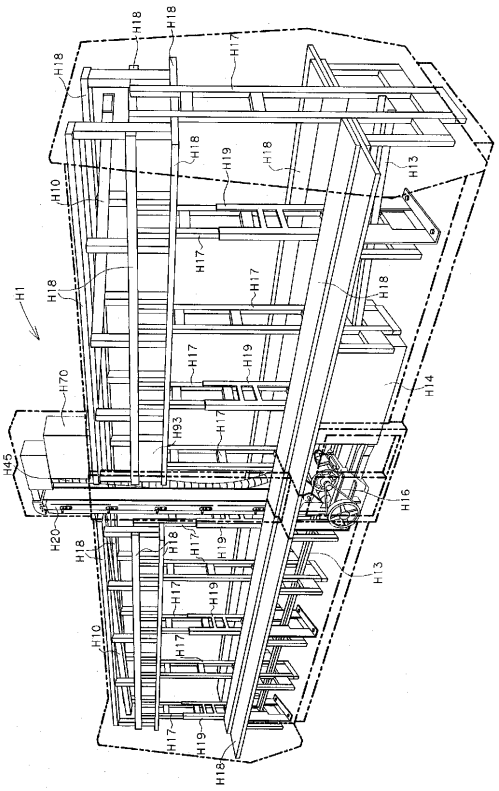
【図８】


13b
10b
11
12
14
1
11
12
A35
A70
80
50
90b
93
92
A33
A25
23
A40
12
20
90a
92
A34
15
11
10a
12
13a
11

【図９】


H2
H2
H19
H10
H18
H17
H18
H13
H1
H18
H18
H17
H19
H14
H70
H93
H45
H17
H20
H16
H10
H18
H17
H19
H18
H13
H18
H18
H17

【図１０】


H18
H18
H18
H17
H18
H19
H18
H13
H10
H17
H17
H1
H18
H18
H17
H19
H70
H14
H93
H17
H45
H16
H20
H18
H18
H17
H19
H13
H17
H19
H10
H17
H17
H19
H18

フロントページの続き

審査官　澤田　真治

(56)参考文献　実開昭５６－０９５２８０（ＪＰ，Ｕ）
実開平０５－０１３４８９（ＪＰ，Ｕ）
実開平０６－０３９０６４（ＪＰ，Ｕ）
実公昭５４－０１５７２４（ＪＰ，Ｙ１）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
A63F 7/02